

局の動き

財務部

金融行政に係る関係機関との連携 ～違法な金融業者による被害0(ゼロ)を目指して!!～

5月26日、沖縄総合事務局において、「貸金業監督者会議」、「貸金業関係幹事会」及び「無登録ファンド等連絡会」の3つの会議を開催しました。

これらの会議は、貸金業を利用する資金需要者等の利益の保護や投資者保護の観点から、貸金業者及び無登録ファンド業者に係る関係機関と緊密な連携を図ることを目的としており、沖縄県、沖縄県警察本部及び沖縄県消費生活センターで構成されています。

今回の会議においては、最近のヤミ金融の動向や事例、無登録ファンド業者に対する規制などについて情報共有を図るとともに、

今後の対応について意見交換を行いました。

財務部では、今後も、金融行政に係る関係

機関と連携を密にしながら、貸金業を利用する資金需要者等の利益の保護や投資者保護に努めてまいります。



会議の様子

国有財産行政を通じた地域連携の取組

「津波時における一時避難施設としての使用に関する協定書」に係る調印式

6月26日、八重山財務出張所長と石垣市長は、石垣住宅10号棟、11号棟及び12号棟について、「津波時における一時避難施設としての使用に関する協定書」を締結し、石垣市より「津波避難ビル」としての指定を受けました。

「津波避難ビル」とは、津波浸水予想地域内において地域住民等が津波から一時または緊急に避難・退避する施設をいいます。石垣市では、明和の大津波（1771年）で甚大な被害を受けた教訓や、海抜の低い地域に人口が集中している現状から津波発生時における地域住民の避難対策が喫緊の課題となっており、津波避難ビルの指定拡充に取り組んでいます。

今般、石垣市から津波発生時に地域住民等が迅速な避難行動をとれるよう、指定要件に合致する「石垣住宅」を一時避難場所として利用したい旨の要請を受け、当出張所としても国有財産を有効活用して地域防災に貢献すべきとの考えのもと、協定を結びました。沖縄県内の国家公務員宿舎（合同宿舎）においては、石垣住宅が初めての指定となります。



協定書に調印した石垣市長（左）と、八重山財務出張所長（右）



石垣住宅11号棟外観

「新県立八重山病院建設予定地」に係る国有地の売買契約調印式

6月25日、旧石垣空港跡地内の国有地を「新県立八重山病院建設予定地」として沖縄県病院事業局に売買するため、八重山財務出張所長と沖縄県八重山病院院長が売買契約書に調印しました。

沖縄県病院事業局が取得した国有地の面積は、約3万㎡であり、時価（6億7,300万円）による売買となりました。

現県立八重山病院は、昭和55年の完成から35年を経過しているため施設の老朽化が顕著となっており、急速な疾病構造の変化や高齢化などに伴う医療ニーズへの対応を求められていることや、地元三市町村（石垣市、竹富町、与那国町）及び保健・医療関係団体などから新病院の早期新築・移転の要請が寄せられていたことを背景として、新県立八重山病院整備事業（25～29年度）に基づき移転・新築が決定されたことから、売買契約の調印に至りました。



新県立八重山病院の完成イメージ

財務部では、財政、金融、経済調査、国有財産で地域社会と連携してまいります。

農林水産部

小中学生向け夏休み野外学習会
～世界に誇れる「地下ダム」の見学～

土地改良総合事務所では、7月30日と31日の2日間、沖縄本島南部土地改良区の協力のもと、米須地下ダム及び慶座（ぎいざ）地下ダムにおいて、夏休み野外学習会を開催しました。本学習会には、八重瀬町・糸満市の小中学生とその家族で合計81名の参加があり、地下ダム開発の歴史や仕組み等についてのクイズに挑戦しました。また、参加者は、地下ダムの水を農地へ配水するために高台に設置された仲座ファームポンドに実際に上がり、施設の必要性について学んだほか、地下ダムから汲み上げられた

水の様子も見学しました。

地下ダムの水に直接触れた小学生は「とても冷たい!」と歓声を上げ、また、地元の直売所をよく利用するという母親から



仲座ファームポンド管理用扉から中の様子を覗き込む参加者

は、「地下ダムのおかげで、おいしい新鮮な野菜や果物が食べられることに感謝したい」との意見が寄せられました。



米須地下ダムで地下水に触れる子供達

農林水産部

食育講演会
～食育に活かそう、地域の食文化と農業体験～

6月の食育月間における取組として6月30日に、県民の栄養バランスのよい食生活の実践や、農業体験のきっかけづくりとなるよう「食育に活かそう、地域の食文化と農業体験」をテーマとする食育講演会を開催しました。

第1部では、「地域の食材を活かした日本型食生活のすすめ」と題して、沖縄県栄養士会 管理栄養士の田嶋美智子氏から講演いただき、県民の野菜摂取量の少なさや、油脂分摂取割合の多さについて指摘がありました。そこでご飯を中心に油脂分控えて野菜を多く摂取するための、家庭で実践しやすい

献立やレシピを紹介いただき、来場者からは、「レジュメにレシピが載っているの、家庭でも食について学べる点が良い」などの意見がありました。

第2部では、「五感で学ぶ食育～今帰仁の里あいあいファームの取り組み～」と題して、(株) アメニティ 企画室長の諸見里美幸氏から、ファームや体験学習の映像を紹介しながら五感を使った体験型の食育について講演いただき、来場者からは、「子供と一緒に教育ファームを体験してみたい」などの意見がありました。

講演会には、一般の方を始め、市町村職員、教育委員会担当者など約100名の参加がありました。



食育講演会の様子

農林水産部

沖縄パインのパネル展
～沖縄パイン産業の歴史と生産から加工まで～

6月23日から4日間、「沖縄のパイン産業の歴史と生産から加工まで」をテーマにパネル展を那覇第2地方合同庁舎にて開催しました。

当パネル展では、戦前や戦後のパインアップル栽培の様子や、生育ステージ及び栽培に適した土壌といったパインアップルの生態について紹介するパネルの展示に加え、数品種のパインアップルの実物(鉢植え)やパインアップルを原材料とした缶詰製品の展示、缶詰製品の製造工程に関するDVD上映も行いました。

また、沖縄の主力品種である「N67-10」や、桃のような香りの「ソフトタッチ」、贈答用として人気の高い「ゴールドバレル」の3つの生果の食べ比べを行ったところ、来場者の評価は、1種類に偏ることなく、平均的に好みがかかる結果となりました。

さらに、生果以外のパインアップルの魅力を紹介するため、パインアップルを使った「パインのタコライス風」や「チキパイン飯」などの加工製品の試食会を行いました。

当パネル展をきっかけに、沖縄の重要な果物であるパインアップルについて多くの

方々に興味を持ってもらうとともに、今後一層消費者の手に取ってもらえることを期待しています。



パネル・映像でパインについて学ぶ来場者

経済産業部

新たな機能性表示制度に係る説明会

今年4月、新しく「機能性表示食品」制度が始まりました。

6月18日、内閣府沖縄総合事務局では、本制度の適切な活用を目的に、消費者庁の担当者を招いて制度説明会を開催しました。

機能性を表示することができる食品は、これまで国が個別に許可した特定保健用食品(トクホ)と国の規格基準に適合した栄養機能食品に限られていました。本制度は、機能性を分かりやすく表示した商品の選択肢を増やし、消費者がそのような商品の正しい情報を

得て選択できるようにした制度です。

この制度を利用するためには、事業者が国の定めるルールに基づき、食品の安全性と機能性に関する科学的根拠などの必要な事項を、販売前に消費者庁長官に届け出る必要があります。

本説明会では、制度ができた背景、制度の特徴、利用するために必要な手続き等について、説明がありました。当日は、事業者、支援機関など約130名が参加し、活発な意見交換も行われ、本制度の関心の高さがうかがえました。



説明会の様子

機能性表示食品とは?

- 「おなかの調子を整えます」「脂肪の吸収をおだやかにします」など、特定の保健の目的が期待できる(健康の維持及び増進に役立つ)という食品の機能性を表示することができる食品です。
- 安全性の確保を前提とし、科学的根拠に基づいた機能性が、事業者の責任において表示されるものです。
- 消費者の皆さんが誤認することなく商品を選択することができるよう、適正な表示などによる情報提供が行われます。

経済産業部

沖縄産業立地・地域活性化推進協議会の総会

内閣府沖縄総合事務局では、沖縄県、市町村、支援機関等で構成する「沖縄産業立地・地域活性化推進協議会」の事務局を担当しています。当協議会では、県内に企業を誘致するためのセミナーや研修会、地域活性化に向けた調査研究などを行っています。

去る7月3日、那覇市にて当協議会の平成27年度総会を開催しました。

総会では、宜野座村、琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行の4機関を新しく会員に加えることについて、了承が得られました。これにより、当協議会の会員は、沖

縄県、16市町村、3金融機関、ジェトロ沖縄等、25機関となりました(末尾参照)。

さらに、総会では、金融機関を会員に加えたことにより、金融機関と行政との連携による企業誘致や地域活性化に向けた取組、地方創生の動きを踏まえた地域活性化に向けた取組を盛り込んだ年間活動計画についても、了承が得られました。

総会を終え、当協議会では、自治体のコーディネート機能の発揮、広域的な視点、官民一体の3つをポイントに、各種取組を本格的に実施して参ります。



総会の様子

協議会会員一覧

沖縄県、那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、南城市、宜野座村、金武町、読谷村、中城村、西原町、南風原町、八重瀬町、琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、沖縄電力、沖縄県商工会議所連合会、ジェトロ沖縄、中小機構沖縄、沖縄総合事務局

経済産業部

沖縄PPP/PFIセミナー

公共サービスのコスト低減や質的向上・多様化を図る上で、民間の各種のノウハウや資金などを活用して官民連携で事業を推進する「PFI/PPP」等の導入が注目されております。

5月19日、沖縄銀行、琉球銀行、日本政策投資銀行及び内閣府では、自治体におけるPFI/PPPの導入による地域振興の取り組みを推進することを目的に、沖縄PPP/PFIセミナーを開催しました。

同セミナーでは、「PPP/PFIの今後の展望について」と題して、内閣府PFI推

進室榊原広参事官補佐から、「公共施設老朽化問題と公有資産マネジメント・PPP/PFI」と題して、日本政策投資銀行PPP/PFI推進センター足立慎一郎課長から、「公営住宅等のPPP/PFIに取り組むことで、何が見えてくるか」と題して、国土交通省住宅局住宅総合整備課松野秀生企画専門官から、ご講演をいただきました。

セミナーには、市町村及び民間企業の方々100名程度が参加し、PFI/PPPに対する関心の高さがうかがえました。



セミナーの様子

- PFI (Private Finance Initiative) : 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
- PPP (Public Private Partnership) : PFIの概念を更に拡大し、公共サービスに市場メカニズムを導入することを旨に、サービスの属性に応じて民間委託、PFI、独法化、民営化等の方策を通じて公共サービスの効率化を図ること。PFIはPPPの手段の一つ

開発建設部

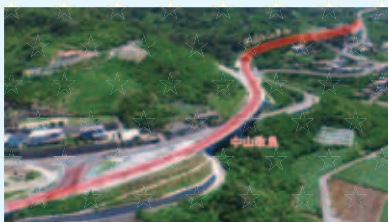
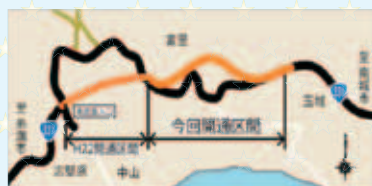
国道331号 中山改良全線開通

1. 中山改良について

中山改良は、国道331号南城市玉城字中山地区の防災対策及び線形改良を行い、交通安全の確保や地域の観光支援などを目的としています。

平成2年度に事業化し、平成6年度から用地買収、平成12年度より工事に着手し、平成22年度には南城市玉城字志堅原から中山区間の900mが部分開通していました。

7月14日午後4時に中山地内の900mが開通し全区間が完成開通しました。



2. 開通による効果について

これまで、落石や冠水等による通行規制が多発していましたが、全線開通により、災害等による「通行止め」が解消されて安心して通行できる区間が確保されます。

○幅員狭小・屈曲部など線形不良による大型車のすれ違いが困難であった問題が解消されます。

○南部地域には、世界遺産「斎場御嶽」や「あざまサンサンビーチ」「おきなわワールド文化王国・玉泉洞」などの観光資源が集積しており、全線開通により観光周遊の利便性が向上し、地域経済の好循環に貢献することが期待されます。

3. 完成式について

全線完成開通に先立って、完成式が午後1時30分から開催されました。

式では、古謝南城市長、嶺井県議会議員の挨拶、上原南部国道事務所長の工事経過報告のほか、安全を祈願しての三線演奏、通り初め、地域住民を対象に、トンネル内など開通前道路の見学会やパネル展示などを行うとともに、開通を記念して、中山改良事業の概要などをまとめたQRコードで動画も楽しめるインフラカードを配布しました。

一般車両の通行については、式後、沖縄県警など関係機関の協力のもと、午後4時から無事通行を開始しました。

なお、中山改良区間からは、奥武島など南部の東海岸が一望できます。南部の周遊観光、地域の発展に役立つことを祈念して、報告と致します。



(開通前のトンネル内で中山改良事業等のストック効果のパネルを展示)



(トンネル内見学)

開発建設部

平成26年度開発建設部所管優良業者等表彰式

7月15日、「平成26年度開発建設部所管優良業者等表彰式」を開催しました。本表彰は平成26年度に完成した工事213件、業務267件の中から、優良施工工事6件、安全施工工事2件、優良業務5件、優秀工事技術者4名、優秀業務技術者3名を表彰いたしました。今後とも発注者と受注者の連携・協調により、質の高い社会基盤整備の構築を推進してまいります。

【優良施工工事】

- ・先嶋建設株式会社
- ・南洋土建株式会社
- ・國幸興發株式会社
- ・あおみ建設・大本組・南海建設特定建設工事共同企業体
- ・五洋建設(株)・(株)富士ピーエス特定建設工事共同企業体
- ・丸尾建設株式会社

【安全施工工事】

- ・金秀建設株式会社
- ・三井住友建設株式会社九州支店

【優良業務】

- ・株式会社ホープ設計
- ・大日本コンサルタント株式会社
- ・株式会社アークスタッフ
- ・株式会社長大沖縄支店
- ・株式会社エコー
- 【優秀工事技術者】
- ・株式会社大本組 松本竜哉
- ・川田建設・銭高組特定建設工事共同企業体 森脇 健次
- ・株式会社國場組 嘉数 和彦

- ・あおみ建設・座波建設特定建設工事共同企業体 金田 裕治

【優秀業務技術者】

- ・株式会社長大沖縄支店 石原 智司
- ・日本工営株式会社沖縄事務所 齋藤正義
- ・株式会社イーエーシー 木村 英彰

詳細及び開発建設部長、各事務所長表彰については以下のHPをご覧ください。

<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/koji/007773.html>

